

「地域のチカラ」で「家庭教育支援」の体制づくりを進めています!

家庭教育はすべての教育の出発点であり、子どもが基本的な生活習慣や生活能力などを身に付けていく上で、重要な役割を果たしています。しかし、近年、共働き世帯やひとり親世帯の増加による家族構成の変化や地域における人間関係の希薄化の影響を受けて、家庭教育が困難な状況も見受けられます。そのため、**地域全体で家庭教育を支援**することが求められています。

このような中、青森県教育委員会では、家庭に対し予防的・早期対応型の支援を行う実行委員会を県内6市町村で組織し、**学校と家庭教育支援団体等の連携・協働**の促進に取り組んでいます。この実行委員会では、学校・家庭教育支援団体をはじめ、公民館や市町村福祉部局等、関係機関が連携を深めるため、連絡会議を開催しています。今回は、6実行委員会の取組の一部を紹介します。

鱒ヶ沢町実行委員会

子どもたちが木のおもちゃで存分に遊べる「木育広場」を実施しました。普段はゲーム機で遊ぶ子どもも、ここでは木のおもちゃに夢中になりました。また、父親、高齢者、中学生など多くの方が参加し、楽しく交流を図ることができました。



八戸市実行委員会

小学校の参観日やバザー等の行事がある日に、校内で未就学児の預かり保育を実施しています。教育相談にも応じています。普段から活動拠点を小学校に置いているため、先生方との情報交換を密にでき、問題があった場合には素早く対応しています。



青森市実行委員会

地域の方が小中学生等と同じテーブルで「通学路の雪かきはみんなで協力しよう。」「買い物の不便さは解消できる?」など、地域のこれからの考えました。世代の差はあれども同じ地域の住民同士、大いに交流も深まりました。



今別町実行委員会

子育て中のママやマタニティママを対象としたサロンを開いています。セルフマッサージ、トルネードポテトづくりなど、毎回内容は様々。スタッフは子育て相談にも応じており、安心して子育てできる環境を整えています。



野辺地町実行委員会

地域の方が小学生とともに汗を流し、中庭の整備や芋の作付け、草刈り、収穫を行うなど、互いに交流を図ってきました。写真は、収穫したじゃがいもとサツマイモの収穫祭「いもリンピック」で盛り上がっている様子です。



佐井村実行委員会

小学校の参観日に、家庭科室で「参観日カフェ」を開きました。授業参観の前後に保護者が立ち寄り、保護者同士の貴重な情報交換の場となっています。子育てに関する悩みや学校生活上の疑問等には、先輩ママであるスタッフが相談に応じます。



令和2年3月には、市町村が主体となって、学校と家庭教育支援団体等が連携・協働した体制をつくる際の手引きとなる「家庭教育連携・協働ハンドブック」を作成し、各市町村教育委員会及び小・中学校に配布する予定です。

問 生涯学習課 地域連携推進グループ TEL.017-734-9890

「地域のお宝」を学び地域活動を担う高校生育成事業

高校生の視点と発想で「地域のお宝」を見つけ、「物語」として発信します!

県内12市町村の各実行委員会では、高校生が中心となって地域の食や歴史、伝統芸能、観光資源などに焦点をあてながら体験的な学びを展開し、その魅力を発信する「**地域のお宝物語**」の企画・実践に取り組んでいます。

高校生と地域の大人の連携・協働による2年間にわたる活動はいよいよ大詰めを迎えました。高校生が2年間の活動を通して紡いだストーリー「**地域のお宝物語**」は、青森県教育委員会のホームページ(下部URLまたはQRコード)で公開予定です。

実行委員会で企画内容を検討
お宝を探す各種ワークショップ

企画内容のブラッシュアップ、実践活動
お宝の魅力を掘り下げ、情報発信につなげる

情報発信
「地域のお宝物語」完成!

活動の様子 ～「地域のお宝物語」ができるまで～

地域の名物・名所に関するアイデア出し



五所川原市実行委員会

津軽鉄道沿線の観光資源に焦点をあて、その魅力を案内
＜参加高校生の所属＞
五所川原商業高校

地域の名所や行事の様子取材し、「物語」の題材を収集



野辺地町実行委員会

四季折々の食や観光資源などを、お宝探しの物語として紹介
＜参加高校生の所属＞
青森高校、野辺地高校、
八戸学院野辺地西高校

地元イベントでの活動PR



むつ市実行委員会

水と人々の暮らしをテーマに「大湊」の魅力を絵本で紹介
＜参加高校生の所属＞
大湊高校

地元イベントでの活動PR



三沢市実行委員会

地元食材を用いたオリジナルバーベキューの企画・実践を通して、三沢市の魅力を発信
＜参加高校生の所属＞
三沢高校、三沢商業高校

「地域のお宝物語」プレゼン大会の様子 (令和2年2月1日アピオあおもりにて)



12市町村実行委員会の高校生が取り組んできた「地域のお宝物語」の実践結果を発表するプレゼン大会を開催しました。

高校生が自らの視点で自分たちの住むまちの「お宝」を紹介するストーリーが次々と披露され、会場は地域活動に関心のある参加者の皆さんの熱気に包まれました。

参加高校生の感想

- ・自分で考えて動くことや、人前で意見を言う力が身につきました。
- ・身近すぎて気づかなかった地元の良さを知ることができました。
- ・他の実行委員会の高校生の発表を見て、とても刺激を受けました。
- ・自分たちのアイデアが形になっていくのが楽しかったです。

身近すぎて気づかない地域の魅力、あなたも掘り起こしてみませんか?

問 生涯学習課 企画振興グループ TEL.017-734-9889 http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/tiiki_no_otakara.html

